

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田淵・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	3 人	人	人	8 人

前回の改善計画	利用開始前までの情報は連絡ノート、情報提供用紙にて情報共有しているが、質問や頭に入りにくい為、申し送りで説明、知りたい情報や必要な情報の抜けがないか、質問をしたい場合にかける用紙を作成使用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	用紙で実施はあまりなかったが、質問したい場合は連絡帳などに書き込みが行えており、返答もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	2	1		8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	4			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	4			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	2			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること サービスの利用前などには連絡帳やケアプランなどを確認し、利用者情報を共有している。 そのほかに地域の方などに利用者の事を聞き取るなどして生活状況の把握に努めている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者が具体的に何をしたいかなどの細かい情報が少なく、利用されてから聞き取りを行っている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者のしたいことや望みなどが具体的にわかるように契約時などに聞き出しを行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田淵・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	1人	人	8人

前回の改善計画
ミーティングにてモニタリングで進んでいないところを発表する項目を作り、チームでフォローを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
モニタリングが具体的にできていない為、実施結果はでていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	5			8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	4			8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	5			8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	6	2			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ミーティングで利用者の困っている事や普段思っている事を発言し、次の対応を生かしている。・目標を立てて、その要望や不安を受け入れ、改善策を見つけ、どうしたらいいか、教えながらなんとか行動に移している。・本人の意思などはミーティングで話し合いが出来ている。・利用者個々に担当する職員がミーティング前に記入し、まとめをミーティングで話している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・日々の関わりに本人の目標を目指した関わりが意識できていない。・各担当が決まっているがモニタリングが進んでいない。(継続出来ていない)

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・27 年度からモニタリングを行っているが、内容が濃い為、状態の変化や定期的な見直しが難しいとの意見があった。モニタリングを効果的に行うために、小規模介護計画書の見直しを行う。介護計画の研修を行い、意味や何をすればいいのか職員に再度理解してもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17:30 ~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田渕・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	2人	人	8人

前回の改善計画	前回の改善計画で上がった、過去の暮らしのチェックシートを活用できていないため、項目の見直し、使い方をミーティングにて共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングにて共有し、過去の暮らしに基づいて好きな事など考えケアに生かしている。しかし、利用者全体ではなく一部の利用者のみになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	3	1	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	3			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6	2			8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	2	2		8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	3			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティングにて利用者の問題点を話し合い対策など業務に生かしている。 体調の変化などもその都度職員間で話し合い支援できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の生活習慣など把握出来ていないところがある。 生活リズムなどを考慮した利用者支援ができていないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者担当で個別ケアを実施する。 その際に生活リズムや過去の生活を大まかに把握し、それにそった支援内容を作成する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田渕・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	人	人	8人

前回の改善計画	必要な方にはご本人、ご家族の了解を得て、地域の民生委員の方と連絡を取り、和楽の郷のことを知って頂き、なにかあれば相談を頂ける関係を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	相談件数も増えており地域の方と話す機会も増えている。 また、利用されている方から和楽の郷のことを聞いて利用に繋がったケースもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	4			8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5			8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	4	1		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	5			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問や電話などで本人の状態の把握などが行えている。 ・月に一度行事を行い、地域住民や利用者との関係を途切れないようにしている。 ・利用者用の出勤簿を作成し寝る時間、起きる時間を把握出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用日以外の様子は訪問がない方に関しての情報収集ができていない。 暮らしの様子を本人から言われる事があるがそれを情報として共有できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
小規模介護計画を作成する際、担当職員が一日の暮らし方などの聞き取りを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田渕・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	2 人	人	8 人

前回の改善計画	地域職員や地域の方に聞き取りをして地域で行われている活動にアンテナを張り、関わりをもってゆく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域行事などに参加する際には、地域職員から情報を聞きだすことで、その行事に参加することができた。また、参加しやすい体制づくりをすることで、効果的に行事に参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	4	1		8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	5			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	4			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所で行う行事には地域ボランティアや活動されている方に依頼し、出演・協力いただいている。また、体調の変化などに応じ宿泊や訪問が必要か話し合い、対応できる時には訪問や宿泊など臨機応変に変更し対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
体調などの変化には対応できているが、精神的な気分の変化のときにはいつも通りの支援になっていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
『最近の様子』や『今日の様子』での気づきや違和感を職員間で共有し、その都度本人の状態の把握をし、その時の気分などに応じて声かけなどを変える。気分の変化が続けば、連絡ノートやミーティングで話し合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田渕・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	人	8人

前回の改善計画	防災訓練などを通じて消防団に事業所を知って頂く。
前回の改善計画に対する取組み結果	地元の消防団に挨拶をし、関係作りに努めた。それにより、消防団の方が台風や災害の際、事業所にも来てくださった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	4	1		8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	4	1		8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	3	2		8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	5	3			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 草山診療所と連携を行い利用者の状態把握などを行っている。幼稚園との交流会や月一回の行事などで地域との関係が途切れないよう繋がりを持つことで、和楽の郷を知ってもらう機会をつくっている
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 行事以外で子どもや高齢者などが訪れる機会が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 広報などを通じ気軽に事業所に訪れて欲しいと伝える。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~18 : 30)

7. 運営

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田淵・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	4			8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	3			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	2			8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	3			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りの参加時や送迎の際に相談や意見を持ち帰り相談出来ている。 ・苦情などもその都度ミーティングで話し合っている。 ・地域の行事に出張レクリエーションとして職員が地域に出向き関わる事が出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>行事に参加されている地域の方からは意見を聞けるが、和楽の郷と接点がありません地域の方々から意見を聞く機会が少ない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・現在は月行事に参加されている方以外の事業所への来訪自体が少ない。地域の行事に参加し、地域の方と話しが出来る機会をつくっていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~18 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田淵・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	3人	人	8人

前回の改善計画	研修の情報が入れれば職員に周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修などがあれば参加を促し、参加した職員もあつたが参加数は少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	4			8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	3	1		8
③	地域連絡会に参加していますか		4	3	1	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4	1		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内での研修は行えている。 また、各職員が資格取得に取り組んでいる。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職場外での研修にあまり参加できていない現状がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員の興味のある内容の研修や市内で実施される研修の情報を発信し、参加を促すとともに参加しやすい体制づくりに努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 (17 : 30 ~18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 細見・西牧・芦田・松本・田渕・山田・荒木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	2 人	人	人	8 人

前回の改善計画
個人情報についての研修を行い、また、チームとして個人情報の取り扱いに気をつける。

前回の改善計画に対する取組み結果
個人情報の研修はH29年度の研修計画に取り込み12月に実施予定。
前回の外部評価後、『なんとか出来ている』が3名だった為、ミーティングにて管理の甘い場所などを話し合った。カルテが入っているキャビネットが開いたままのときがあると意見があったので注意している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8				8
②	虐待は行われていない	8				8
③	プライバシーが守られている	8				8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	1			8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8				8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束はしていない。業務の中で気になるものはミーティング時に身体拘束になっていないかを話し合いができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
トイレの声かけ時に周りに聞こえるような声になっているときがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
研修を行い、プライバシーについての情報を職員間で再度共有する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の 特徴	和楽の郷は山や畑に囲まれ、近くには小学校や幼稚園があり、子供達の元気な声が聞こえてくるのどかな環境です。隣接施設としてグループホームがあり、向いには診療所があるので日中、体調を崩された場合の受診対応が可能です。小規模多機能として、通所、訪問、宿泊を組み合わせた柔軟なサービスを提供し包括的にご利用者、ご家族の生活を支えています。毎月地域住民の方も参加される行事を9年以上継続して行っており、地域に愛される施設を目指しています。
事業所名	小規模多機能 和楽の郷	管理者	志村 卓哉		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	現在活用が出来ていない為、業務ミーティングにて再度チェックシートの項目、導入の仕方を周知して使用する。	基本情報は共有出来ているが、チェックシートは活用していない。	利用前の情報共有で、慣れる前から聞きすぎるのは警戒される。利用が始まり、心を開いてから情報の聞き取りが大切。	利用者の事前情報は情報提供書の内容で聞き取りを行い、情報提供書に確実に記入し情報共有する。利用が始まれば小規模ケアプランを作成し、細かい情報とニーズを聞き出し具体的なケアを実行していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	行事の継続、相談に来られて利用にならなかった方も行事への参加を声掛けする。地域の方にも和楽の郷の雰囲気を感じて頂くためにも利用者と散歩や日向ぼっこに出る	行事の継続は出来ている。散歩や日向ぼっこは寒い時期以外はできた。	事業所に入ってもらうには地域に向けた見学会のようなことをすれば、きっかけになるのではないかと。	地域の方にも協力してもらい、事業所の主催で地域に向けた見学会を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域職員から地域の行事についての情報を収集。和楽から地域行事に参加する。今年度取り組んだ地域の敬老行事や地域サロンへ出張レクリエーションとして職員が参加する取組を継続する	行事への参加は出来てきている。地域の夏祭りに出店も出来た。	職員は車ですれ違っても挨拶をしてくれる。地域の方に事業所があるのは知られているが、何をしているところなのか知られていない。	まず、事業所を知ってもらう為に見学会を行い事業所説明と相談の第一窓口になれることを説明する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	Aでのチェックシートを活用して家族にも許可を頂き、地域の仲の良い方や支援者を把握し、情報を持っておく。自治会長、民生委員の方へ顔を合わせてコミュニケーションが図れるように挨拶に行く	小規模ケアプランにて地域との繋がりなど書いてある利用者もいる。民生委員の方との繋がりがなかった方もサービス担当者会議に参加してもらった。	数回、利用者と一緒に地域の行事に参加出来ていた。地域の夏祭りに参加したい利用者を連れて行く事は出来ないかと。	以前は夏祭りの屋台周りは疲れるから行かない。という意見が多かったので行かなかったが、今年も行きたい方がおられないか聞き取りを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	市の担当者には会議録をメールで送る。	市の担当者に会議録を送れている。市より地域包括担当者にも送れている。	取り組みや改善が出来ている。次回の運営推進会議で経過を伝えられたほうが良い。	運営推進会議で意見が出て改善をした場合は次回の運営推進会議で経過報告をする。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練を消防団の方とは日程が合わず実施出来なかったが再度調整を行う。民生委員の方は一度声を掛けたのみで大変との意見をもらったが、民生委員やその他の委員団体にも声を掛ける。	消防団に入っている職員がおり、消防団への挨拶、何かあれば協力を要請することを伝えられた。	防災訓練がいつ行われているのかわからない。	運営推進委員にも防災訓練を行う案内を出して参加を依頼する。